

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

B 群連鎖球菌(GBS)の薬剤感受性率推移とペニシリン低感受性 B 群連鎖球菌の検出状況

[研究責任者]

臨床検査科 血液主任 清水 真人

[研究の背景]

近年、ペニシリン低感受性 B 群連鎖球菌が報告されるようになってきた。本来 Streptococcus agalactiae (GBS) は -ラクタム系抗菌薬に対して感受性を示していたが、薬剤感受性率の低下により治療や感染制御においても動向が注目されている。そこで、我々は 2013 年から 2017 年の 5 年間に国立病院機構岡山医療センターで検出された GBS869 株を対象に、薬剤感受性率の推移を調査し、ペニシリン低感受性 GBS(GBS with reduced penicillin susceptibility:PRGBS) とペニシリン感受性 GBS (GBS with penicillin susceptibility:PSGBS) が検出された患者背景を調査した。

[研究の目的]

近年、ペニシリン低感受性 B 群連鎖球菌が報告されるようになってきた。本来 Streptococcus agalactiae (GBS) は -ラクタム系抗菌薬に対して感受性を示していたが、薬剤感受性率の低下により治療や感染制御においても動向が注目されています

今回 2013 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までの 5 年間に当院で分離された GBS 株についての薬剤感受性率の推移を調査します

[研究の方法]

対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までの 5 年間に、当院で分離された GBS 株を保有されていた方

研究期間

当院の臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦 2019 年 8 月 31 日まで
利用するカルテ情報

カルテ情報：

・患者さんの基本的な情報

菌株が分離された患者さんの診療録情報

年齢、性別、入院日、基礎疾患（糖尿病・透析）を使用します。

情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者リハビリテーション科 理学療法士 安藤 可織が責任をもって適切に管理いたします。この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。その場合は担当者にお申し出ください。

[問い合わせ先]

【研究責任者】

国立病院機構岡山医療センター

〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

電話：086-294-9911 FAX：086-294-9255

臨床検査科 血液主任 清水 真人